

月刊 あなたにこの本を！ 平成 22 年 1 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



国境なき大陸南極

一きみに伝えたい地球を救うヒントー



柴田鉄治 著

富山房インターナショナル 1470 円
(0011939522)

ジャンル：現代社会を見つめる

南極での取材経験をもつ著者が 40 年ぶりに再訪した地で、オゾン層にあいた穴などに危機感を強め、環境問題や平和について語る。国境のない南極は軍事利用禁止で、各国が協力し合い観測を続けている。そのため冷戦時、日本と対立していたソ連の基地を訪問した際も、大歓迎を受けたという。著者は、近年の頻発する紛争に少年期の戦争体験を重ねて、胸を痛め、「世界中を南極にしよう！」と提案する。国益にとらわれない地球の未来について考えさせられる。〔297.9〕



茶壺(ちゃつぽ)に追われて

一ほっこり宇治茶のこぼればなしー

小山茂樹 著

淡交社 1365 円 (0011937618)

ジャンル：暮らしにうるおいを

宇治で家業の茶問屋を継いだ著者による、茶にまつわる著作。宇治茶にとどまらず、歴史・種類や茶のつく言葉など、茶に関係するあれこれを、故事やエピソードをまじえ、楽しく紹介する。童謡「ずいずいずこころばし」はお茶壺道中の様子を歌ったもの、といった意外な話も多く、驚かされる。問屋の苦労話や、現代のお茶事情の話からは、いい製品を届けようと努める著者の誠実な姿勢が感じられる。どこからでも読め、茶の一杯のように、気軽に楽しめる。〔619〕



大向うの人々 一歌舞伎(かぶき)座三階人情ばなしー

山川静夫 著

講談社 1785 円 (0011941642)

ジャンル：暮らしにうるおいを

「待ってました！」「成田屋！」という歌舞伎座の三階席からかかる掛け声は大向うと呼ばれ、芝居の雰囲気盛り上げている。元アナウンサーの著者は、学生時代「大向うの会」で、大向うの先輩たちや俳優たちと親交をもった。本書では、著者の思い出を中心に、歌舞伎という芸術の魅力を追求する。大向うにかけられる彼らの情熱に驚嘆させられ、歌舞伎をとりまく人と人とのつながりに胸を打たれる。脈々と受け継がれてきた芸道の奥深さに引き込まれる。〔774〕

働く幸せ ―仕事でいちばん大切なこと―

大山泰弘 著

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

WAVE 出版 1470 円 (0011906864)

現在、社員の 7 割を知的障害者が占める日本理化学工業の会長である著者が、仕事が人にもたらす喜びについて語る。チョークを製造する同社では、作業工程などを工夫し、障害者雇用を維持し続けている。著者は「ありがとう」と声をかけるとうれしそうにする従業員を見て、普段は意識することの少ない働くことの意味を考えさせられたという。働くことの原点は、人に必要とされたり、人の役にたったりする喜びにあるということに改めて気づかされる一冊。〔589〕

キリマンジャロの雪が消えていく ―アフリカ環境報告―



石 弘之 著

ジャンル：自然・環境を考える

岩波書店 819 円 (0011939347)

近年、アフリカ大陸では、様々な環境悪化が人々を脅かしている。本書は、温暖化により氷河が減少するキリマンジャロ山をはじめ、砂漠化の進行など厳しい現状をレポートする。環境問題だけでなく、人口増加や食料不足といったこの地が直面する課題にも言及。諸問題と先進国との関係についても指摘する。国連関係者としてアフリカを長年見つめてきた環境学者からの報告は、解決困難なものが多い。だからこそ今、目をそらしてはならない、と考えさせられる。〔519.52〕

健康不安社会を生きる

飯島裕一 編著

ジャンル：現代社会を見つめる

岩波書店 735 円 (0011955316)

手軽に早く結果が出るとうたう健康情報や商品があふれ、だれもが自身の健康に不安を抱える現代。本書では、医療関係者や、社会学、教育学など多方面の研究者へのインタビューをまとめる。加熱する「健康ブーム」への対処法や、現代人が健康的に生きる道を探る。各々が自らの健康に対する判断基準を持ち、怪しげな情報に惑わされない目を養うべき、という研究者らの主張は、不安を乗り越える処方箋(せん)となりそうだ。健康観をみつめ直すきっかけになる。〔498〕

草双紙の世界 ―江戸の出版文化―



木村八重子 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

ペリかん社 2940 円 (0011898978)

草双紙とは江戸時代に流行した絵入り本をさす。草双紙に魅せられ研究者となった著者が、新聞連載に加筆し、その魅力を紹介。「桃太郎」といった短編の赤本から、風刺のきいた黄表紙、長編の合巻(ごうかん)までを取り上げる。53 のテーマを時代順に並べ、取り上げた作品の時代背景や特徴も簡潔に説明する。多くの図版が掲載され、あらすじや場面の解説も加えられ、物語の雰囲気がよく伝わってくる。現代の漫画文化にも通じるという多彩な世界に触れられる。〔913.57〕

のらネコ、町をゆく

野澤延行 著

ジャンル：現代社会を見つめる

NTT出版 1785 円 (0011909174)

都市部の自治体では、排せつ物の悪臭やエサやりなど、のらネコに関する住民の苦情が増加している。本書では、獣医師の著者が、住民と行政が協働で飼い主のいないネコの適切な飼育管理を行う「地域ネコ」という先進的な取り組みを紹介。のらネコの生態にもふれながら、地域全体の問題として解決する新たな視点を提示する。この問題の根本的な原因が、ネコを身勝手に捨てたり、無責任に世話をする人間にあることを指摘しつつ、人間との共生の道を探る。〔645.7〕